

# 【12】

テーマ「自尊感情」

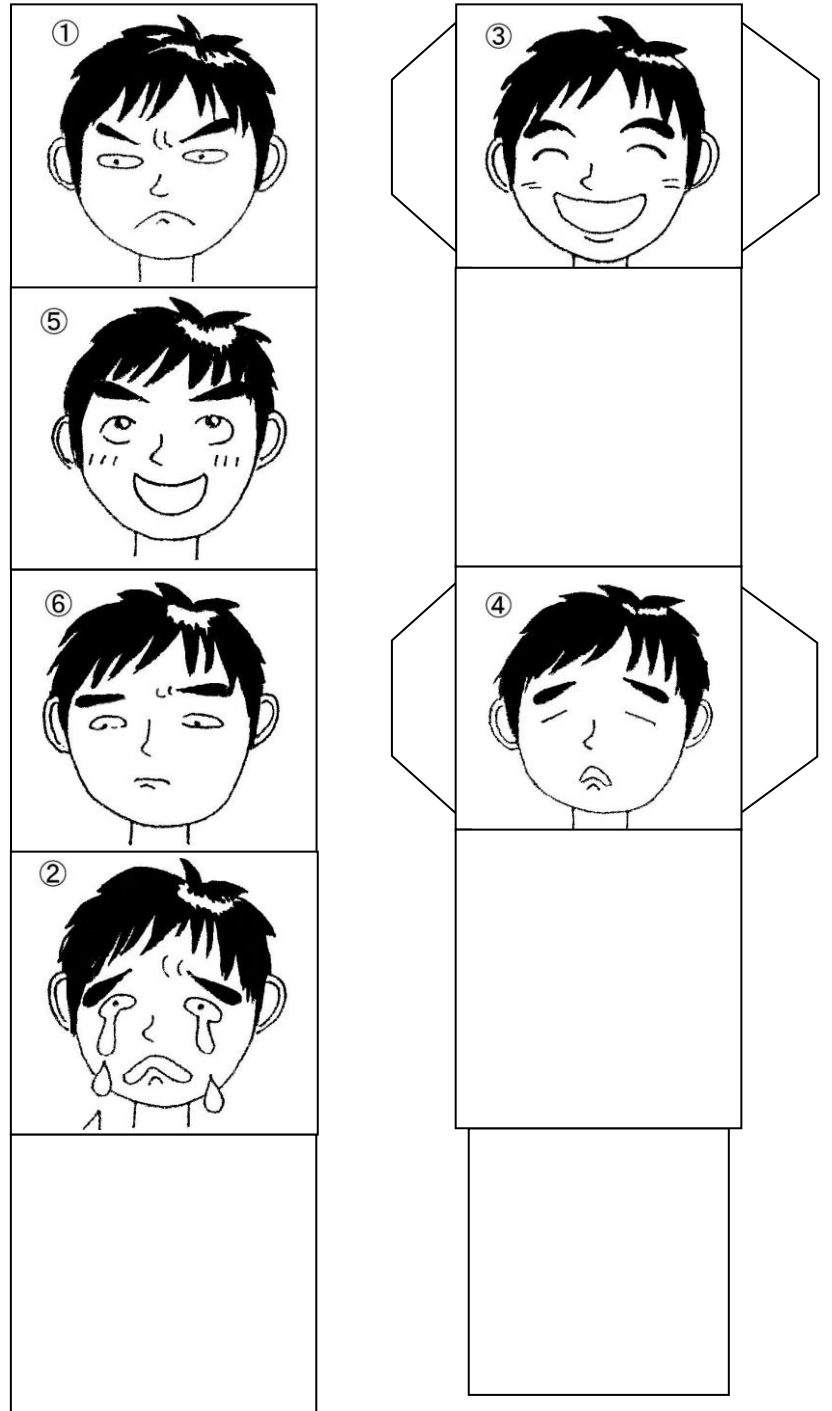
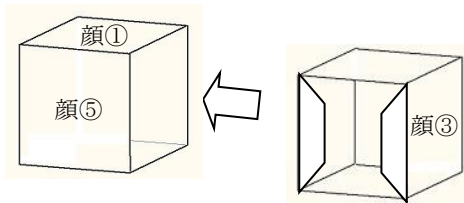
タイトル「子どもの気持ちに向き合う上で大切にしたいこと」

～いじめをしない子どもを育てる『2つの自信』～

【学習資料】きもちサイコロ

<つくりかた>

- ① 白い面をのりしろにして四角の輪を2つ作る。
- ② 顔③のある四角の輪の白い面をのりしろにして、顔①のある四角の輪の内側に入れ、のりづけする。



【学習のポイント】

○子どもの気持ちへの向き合い方を考えることをとおして、子どもの自信を育てる上での家庭ならではの役割について理解を深める。

【キーワード】

○2つの自信〔在ること (Being) の自信と成すこと (Doing) の自信〕

【すすめ方（80分）】

流れ	分	主な活動	主な発問	留意点
導入	3	1 本研修会のねらいや進め方の説明をする ・話合いのルール確認	■「まじめなおしゃべり」という感覚で、肩の力を抜いて参加してください（全体の前で意見発表する場面はありません）	◆「参加・尊重・守秘」を板書しておく
	5	2 アイスブレイキング (参加者の実態によっては省略してよい)	■子どもの好きな食べ物を紹介しながら自己紹介しましょう	◆ファシリテーターも自己紹介する
展開1	2	3 学習の見通しを持つ	■自分に自信のある子どもはいじめをしにくいだらうという仮説に立ち、自分に自信のある子どもの育成に向け、子どもの気持ちに向き合う際に大切にすべきポイントについて考えます	◆エピソードと問いの例を配布し、先行事例を掲示する ◆A3用紙にエピソードを書き込み模造紙の中央に貼る
展開2	6	4 子どもの気持ちにかかわる体験を交流する	■きもちさいころをふり、出た面の気持ちに、実際に子どもがなったときのエピソードを紹介し合ひましょう	
	12	5 みんなで考えたいエピソードをつくり、問いを立てる	■出されたエピソードを参考にしながら、①みんなで考えたい、子どもの気持ちにかかわるエピソードをつくり、②それにかかわる問いを立てましょう	
	2	6 みつばちワクワクカフェの進め方を確認する	◆ファシリテーターが以下を説明する	
① みつばち役になる順番を決める ② みつばち役はワークシートを持って他のグループに移動し、エピソードと問いを説明し、話合いで出された意見をワークシートの余白に書き込んでもらう ③ みつばち役がグループに戻り、もらった意見を報告する ④ みつばち役を交代し②③を繰り返す（グループ数・進行具合に応じてセット数を決める） ⑤ 終了後、他のグループのワークシートを見てまわり、なるほどと思う意見に「いいねシール」を貼る				
	10	7 みつばちワクワクカフェ第1セット	■みつばち役が持ってきたエピソードと問いについて話し合ひましょう（9分） ■グループに戻って報告しましょう（1分）	
	10	8 みつばちワクワクカフェ第2セット（9分+1分）	・みつばち役を交代しながら繰り返す ・意見の出具合を見ながら時間を調整する	
	10	9 みつばちワクワクカフェ第3セット（9分+1分）		

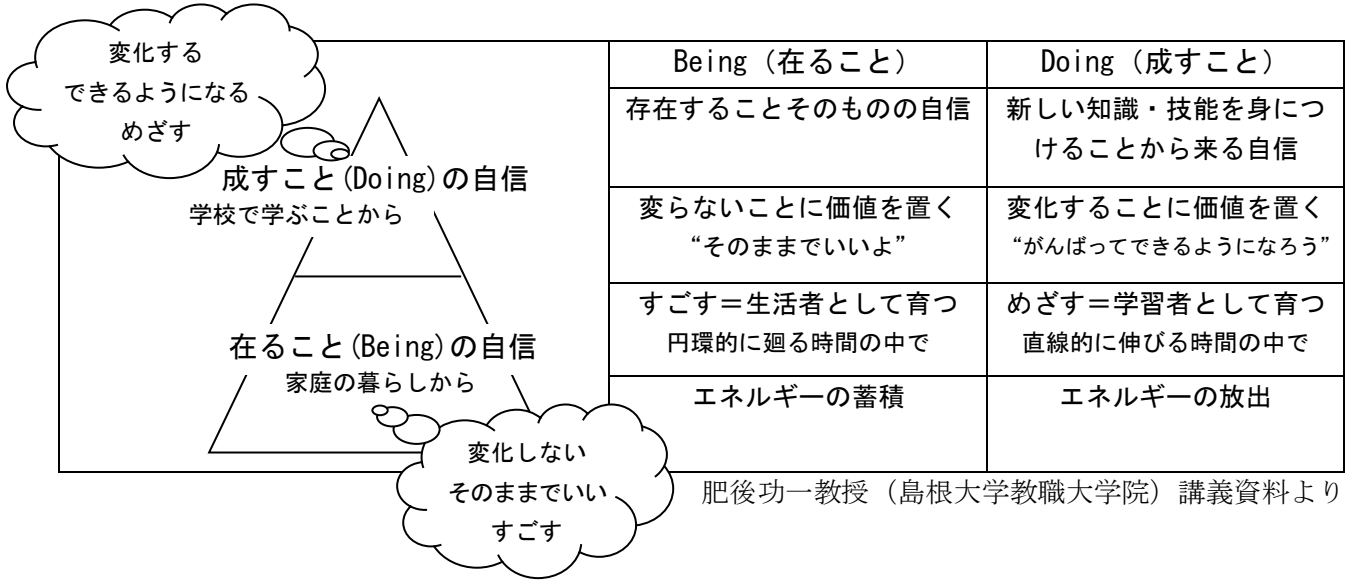
①話し合いで出された意見を書き込んでいく ②話し合いが終わったら自グループの名を書き、花びら状に囲む ③最終セットが終わった時に花が完成するようにする				
展開3	8	10 ギャラリーウォーク	■他のグループのワークシートを見てまわり、なるほどと思う意見に「いいねシール」を貼りましょう	◆「いいねシール」（ドットシール、付箋等）を配布する
まとめ	3	11 振り返りをグループで共有する（3分）	■今日の学習を通して子どもの気持ちに向き合う上で大切にしたいと思ったことを振り返りましょう	◆グループ内で思いや感想などを共有する
	9	12 ファシリテーターよりまとめ	◆いじめをしない子どもを育てるには、在ること (Being) の自信と成すこと (Doing) の自信を育むことが重要だが、このうち在ること (Being) の自信を育むことに家庭ならではの役割がある 等	◆ファシリテーターの体験談を盛り込むと効果的 ◆資料「2つの自信」を配布する

<エピソードと問いの例>

**【きもち②】**  
 雨がしとつく夕方。今日は米子でプロ野球のある日です。お父さんと観戦に行く約束をしているイチロー（当時小4）はお父さんの帰りを今か今かと待っています。  
 父：ただいまー  
 イチロー：お帰りなさいーい！ お父さん 早く行こうよ！ 早くう！  
 父：はいはい ちょっと待っててね しかし空模様が心配だなあ…  
 イチローとお父さんは駅まで歩いて行きました。駅の改札で、お父さんは駅員さんにプロ野球の試合があるかどうか聞きました。駅員さんは試合が中止になったことをお父さんに伝えました。  
 駅からの帰り道、ガマンしきれなくなったイチローは、大声で泣き始めました。

問い「お父さんはどうすればよいでしょう」

<資料：2つの自信>



肥後功一教授（島根大学教職大学院）講義資料より